

【競技上の注意】

- 1 競技は、(一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り実施します。
- 2 競技は、全て男女別(混合リレーを除く)・年齢区分別のタイムレース決勝とします。
50・100mの各種目およびリレー種目は、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い高年齢から低年齢へ、遅い組から速い組への順で行います。但し、競技進行上の理由により一部複数の年齢区分で組み分けを行う組もあります。
- 3 水深は、メインプール2m、アッププール(ダイビングプール)5mで水深台の設置はありません。
- 4 メインプール及びアッププールでのウォーミングアップでは、キックボードのみ使用可能です。(フィン・パドル・シュノーケルなどの用具は使用不可)
- 5 スタートは100m・200m種目とリレー種目はダイビングプール側から、50m種目は電光表示板側から行います。ゴールは全てダイビングプール側となります。
- 6 IDカード(選手・チーム責任者)は、プールへの入場時、再入場時、招集受付、賞状の受け取りの際など、大会中必要になります。会場では首から下げるなど見える位置に常時携帯してください。また、IDカードは写真撮影許可証を兼ねています。なおプールサイドでの撮影は禁止です。
- 7 大会参加にあたり、2次要項をご確認の上でご参加ください。変更があれば、当日電光表示板または通告にて連絡します。
- 8 招集は、全て招集室で行います。50m種目は8レース前、100m種目は5レース前、200m種目は3レース前に招集室へお越しください。
※ 両日とも競技最初の種目は、9:15より招集を開始します。
招集ではIDカードを提示して出場チェックを受けてください。マスクは、出場するレーンに移動するまで着用してください。
- 9 スタートは、50m種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。ゴール後は壁から離れ、自レーンのレーンロープにつかまり待機してください。次の組のスタート後、競技役員の指示で横退水してください。(1~5レーンは1レーン側から、6~10レーンは10レーン側から)
- 10 バックプレート付きスタート台ならびにバックストロークレッジを設置します。バックプレート及びバックストロークレッジの高さ調整は、自レーンに入場後速やかに自身で調整してください。
- 11 リレーのオーダー変更は、締切時間までにリゾリューションへ「リレーオーダー変更届」を提出してください。変更は、締め切り時間内に1回のみとなります。
※ 種目、年齢区分の変更はできません。
※ 同一リレー種目には、年齢区分に関わらず一人1回のみとなります。
※ オーダー変更締め切り後の泳者および泳者順序の変更は認められません。
※ 個人種目に出場している方以外の出場は出来ません。
- 12 リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、出場申告用紙に記載のうえ、リゾリューションへ申告してください、申請がなく水中からスタートした場合は、失格となります。
- 13 日本記録・世界記録の公認には、国際水泳連盟(WORLD AQUATICS)承認水着の着用が必須です。また、はじめて世界記録を突破される方は、生年月日を証明する「パスポート」「住民票」のいずれかのコピーが必要となります。なお、日本記録の場合は、「運転免許証」「マイナンバーカード」のコピーも可となります。

14 以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の1時間前までにリゾリビューションへ申告ください。お申し込み時に申告された方で当日再確認の連絡を受けている方もリゾリビューションへお越しください。

① テープ等をされる方。 <審判長の確認が必要です>

※ 競技規則上、テープ等は認められません。

※ やむを得ず使用の承認が必要な場合は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でお越しください(指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は許可できません)。

② 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方 <審判長の確認が必要です>

※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

③ 出場に介助が必要な方

※ チームにて介助者の対応をしてください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

④ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム

※ 申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。

※ 世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界新記録の公認はされません。

⑤ 世界記録挑戦時にレース中の挑戦コールを希望する方

15 異議申し立ては、チームの責任者が行ってください。選手本人からの申し立ては受け付けられません。競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のあるときはそのランキング発表後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料5,000円を添えてリゾリビューションにご提出ください。抗議書の内容を大会総務で審議・裁定します。抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金しません。なお、チーム等により撮影された映像等は審議の資料として採用されません。

違反内容の問合せについては選手本人からでも可能です。指定用紙に記入のうえ、リゾリビューションにお申し出ください。

16 泳ぐ前の更衣は2階仮設更衣室、泳ぎ終わった後の更衣は1階更衣室を利用し、更衣室内の混雑緩和にご協力ください。また、更衣後の荷物は更衣室内に置かず、各自またはチームで管理してください。長時間置かれている荷物は競技役員が撤去します。

17 大会中の健康管理は本人の責任とし、自身の体調には十分留意してください。会場内で体調不良やけがをした場合は、医務室にて応急処置を行います。大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。